

～応急復旧用重機輸送～



首都高や川崎港海底トンネルが通行止めとなったと想定し、JFE企業専用トンネルを走行して応急復旧に必要な重機を陸上輸送する訓練を実施。

～仮設橋架設～



大地震により耐震強化岸壁のグレーチング部が落下及び岸壁背後が陥没した想定で仮設通路(仮設橋)を設置(架設)する訓練を実施。

～液状化地盤の復旧～



液状化による陥没や段差が発生した為、緊急物資の荷捌き作業ができないことを想定し、砂・敷鉄板で応急復旧する訓練を実施。



国土交通省
関東地方整備局

平成25年1月23日 応急復旧訓練

首都直下地震等大規模かつ広域的な災害発生時に、緊急物資輸送の中継基地となる東京湾臨海部基幹的広域防災拠点の機能を速やかに発揮するための応急復旧を行い、関係機関との連携・協力体制の強化等を図ることを目的として行われた。

～海底障害物調査～



耐震強化岸壁からコンテナ等が海中に没し海中障害物となることを想定し、船舶の接岸の安全を確保するため、ソナーによる海中障害物有無を確認する訓練を実施。

～帰宅困難者海上輸送～



帰宅困難者を小型船舶に乗船させ横浜水上警察の警備艇が先導して安全な避難地まで海上輸送する訓練を実施。

～災害対策用テント設営～



発災時、東扇島基幹的広域防災拠点は、緊急物資の中継基地となり、緊急物資を一時保管する施設が必要となるため、災害対策用テント設営の訓練を実施。